

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解することができるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>音楽 I 改訂版 Tutti+(大修館)</p> <p>音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解することができるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養おうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	音楽著作権 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽(キーボードなど) 楽典(譜表と音名、音符と拍子、調号と臨時記号)	・実技テスト ・小テスト	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	オーケストラの楽器と編成 日本の伝統音楽(謡、箏など) 西洋音楽史 日本音楽史 世界の音楽 楽典(音程) 創作 鑑賞(交響曲、オペラ、歌舞伎など)	・実技テスト ・小テスト	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	音楽著作権 楽典 ……………「譜表と音名」「調号と臨時記号」「音符と休符」「拍子」	2 8	
	5	器楽 ……………キーボード「鍵盤の位置」「譜読み」「運指の基礎(指番号、指使い)」	7	
	6	……………「表現(表現記号、レガートの弾き方)」 歌唱 ……………発声法「Dona nobis pacem」	2	
	7	日本歌曲 ……………「この道」など 外国歌曲 ……………「Caro mio ben」など <実技テスト「キーボード」「歌唱」>	3 3 2	
	8	楽典 ……………オーケストラの楽器	6	
	9	……………様々な編成(室内楽、吹奏楽など)		
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	日本の伝統音楽(器楽・歌唱含む)……………日本音楽史(飛鳥時代～江戸時代)、箏、謡などの実技 <実技テスト「箏」「謡」>	5 2
			日本の民謡と芸能……………様式や音階、リズムの特徴	1
11		西洋音楽史①……………古代～古典派 鑑賞……………バロック、ソナタ形式の作品(交響曲、協奏曲など)	4 2	
		西洋音楽史②……………ロマン派の音楽	3	
12		鑑賞……………標題音楽、国民楽派の音楽	2	
		総合舞台芸術①……………オペラ	2	
		総合舞台芸術②……………歌舞伎	2	
1		西洋音楽史③……………近・現代の音楽 鑑賞……………ドビュッシー、ストラヴィンスキー、現代音楽 楽典……………音程	2 2 3	
2		創作……………リズムを変えて編曲 世界の音楽……………諸民族の音楽／ポピュラー音楽	2 1	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

定期考査はありませんが、授業の中で行う実技テストや小テスト、提出課題を重要視しています。特に、小テストは基礎基本的な内容についてほぼ毎時間実施するために、非常に重要になります。ぜひ意欲的に授業に参加してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表すことができる。</p> <p>(2) 音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりすることができる。</p> <p>(3) 幅広く音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協同的に取り組むことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>音楽Ⅱ Tutti+(大修館)</p> <p>音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりすることができる。	幅広く音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協同的に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽Ⅱ」を学習するにあたって 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽①(キーボード)＜実技テスト＞ 楽典(主要三和音、七の和音)＜小テスト＞ 世界の音楽と踊り(サンバ、フラメンコ) 鑑賞(日本や世界の音風景)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	器楽②(ギターまたはウクレレ)＜実技テスト＞ 楽典(音階)＜小テスト＞ 鑑賞(交響詩・組曲など) 季節を楽しむ音楽 20世紀以降の音楽 創作(映像に合わせたBGM・効果音制作)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	楽典……………音程(復習)	2
		主要三和音	3
	5	七の和音、コードネーム	3
		<楽典小テスト>	1
		言葉(歌詞)を丁寧に歌おう……………「見上げてごらん夜の星を」「風の子供」	3
	6	語感を大切に歌おう……………「Ich liebe dich (愛の願い)」	3
		英語でポップスを歌おう……………「Yesterday Once More」	3
		器楽①……………キーボード「星に願いを」	5
	7	<実技テスト(歌唱または器楽)>	1
		鑑賞……………演奏家と楽器が生み出す世界～名曲・名演奏聴き比べ	2
	世界の音楽と踊り①……………「サンバ」に挑戦	2	
8	世界の音楽と踊り②……………「フラメンコ」	2	
9	日本の音風景……………箏曲、雅楽、三線、津軽三味線、神楽	3	
	前期の学習のまとめ	2	
後期	10	器楽②……………ギターまたはウクレレ(タブ譜の読み方、奏法)	2
		エチュード「きらきら星」	3
		「シューベルトの子守歌」(二重奏) など	4
	11	<実技テスト・ギター>	1
		楽典……………音階(長音階、短音階)	4
		鑑賞……………「アランフェス協奏曲」など	2
	12	「標題音楽」の魅力……………交響曲／交響詩／組曲 など	2
		20世紀以降の音楽……………現代作曲家の作品	2
		季節を楽しむ音楽……………クリスマス・ソングを歌おう・演奏しよう	2
	1	バレエ「くるみ割り人形」	2
	映像に合わせた BGM・効果音……………準備	2	
	素材集め、作曲	3	
2	制作(継続)	3	
	<映像作品発表・批評>	1	
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

「音楽Ⅰ」を修得した生徒だけが選択することができます。「音楽Ⅰ」で身に付けた学習内容をベースに、さらに理解を深めていきます。「音楽Ⅰ」で学んだ基礎的な内容を生かし、音楽系の進学や保育士志望者を念頭に、音楽理論・実技ともに更に発展的な内容となるため、「音楽Ⅰ」の内容を理解した上で選択してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解し、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付けることができる。</p> <p>(2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>Joy of Music(教育芸術社)</p> <p>音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解し、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付けることができる。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくことができる。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>「音楽Ⅲ」を学習するにあたって</p> <p>楽典総合①(小テスト)</p> <p>ソルフェージュ(小テスト)</p> <p>歌唱「日本歌曲」「イタリア歌曲」「ポップス」</p> <p>器楽、アンサンブル</p> <p>鑑賞と批評</p> <p>音楽の形式</p> <p>弾き歌い<ピアノ又はギター>(実技テスト)</p>	<p>・小テスト</p> <p>・提出課題</p>	<p>・実技テスト</p> <p>・授業中の観察</p>	<p>・提出課題</p> <p>・授業中の観察</p>
	評価点			
後期	<p>楽典総合②(小テスト)</p> <p>伴奏づけ(ピアノ又はギター)</p> <p>日本と世界の文化と伝統芸能</p> <p>新曲創作</p> <p>合唱</p> <p>指揮法</p> <p>西洋音楽史、日本音楽史</p> <p>芸術科発表会(実技テスト)</p>	<p>・小テスト</p> <p>・提出課題</p>	<p>・実技テスト</p> <p>・授業中の観察</p>	<p>・提出課題</p> <p>・授業中の観察</p>
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅲ」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習の「ねらい」 楽典①……………音楽Ⅰ・Ⅱの内容の総復習	1 3
	5	表現のための技能(ソルフェージュ)……………視唱、聴音 表現意図をもって歌唱しよう①……………日本歌曲／イタリア歌曲 表現意図をもって歌唱しよう②……………ポップス	4 2 2
	6	器楽①……………キーボード等 器楽アンサンブル 楽典②……………「調性判定／音楽用語と記号」 <小テスト(楽典・ソルフェージュ)>	2 2 2 1
	7	鑑賞と批評①……………演奏者、アレンジの違いによる比較など 弾き歌い……………ピアノ又はギターから選択	2 6
	8	<実技テスト(弾き歌い)> 音楽の形式……………二部形式、ロンド形式、複合形式など	1 1
	9	音楽の形式(楽曲分析)……………形式、調、拍子などからの分析 鑑賞と批評②……………楽曲分析に基づく批評 前期の学習のまとめ	2 2 2
	10	楽典③……………「和声と和音(コード)進行」 伴奏づけ……………ピアノ又はギターから選択	3 5
	11	日本の伝統芸能……………「紅葉狩」を様々な形態で～能・歌舞伎・神楽～ 新曲創作……………コード進行を応用した曲作り 指揮法……………基本の2拍子、3拍子、4拍子、強弱等	2 4 2
	12	美しいコーラス……………2部合唱(クリスマスソング) 器楽②……………クリスマスソング 鑑賞……………オラトリオ「メサイア」	2 2 2
後期	1	西洋音楽史……………古代から近現代、ポップスへ 日本音楽史……………古代から近現代、新しい流れへ <総合まとめテスト>	2 2 2
	2	コンサートを開こう①……………計画 コンサートを開こう②……………練習 コンサートを開こう③……………仕上げ	1 2 2
	3	後期の学習のまとめ<実技テスト>……………芸術科発表会	2

5 その他

「音楽Ⅱ」を修得した生徒が選択することができます。自らが楽しむだけでなく、他者を音楽で楽しませるための様々なスキルを身に付けるための学習を行います。Ⅱまでの学習をベースに、音楽を専攻する学校に進学したい人、保育士など将来やりたい仕事のために音楽的スキルや表現力を身につけたい人等に必要、知識的にも技術的にもかなり専門的な内容(実技を伴う)になりますので、履修する際には注意してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 美術に関する知識の幅を広げるとともに、材料や用具の特徴を生かしながら、形体、色彩、構成などを工夫して表現することができる。</p> <p>(2) 感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとする事ができる。</p>
使用教科書 副教材等	新・高校生の美術1(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術に関する知識の幅を広げるとともに、材料や用具の特徴を生かしながら、形体、色彩、構成などを工夫して表現することができる。	感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとする事ができる。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	オリエンテーション 絵画 ・鑑賞 美術とは何か ・表現 身近なものを描く ・表現 鉛筆で自分の手を描こう ・表現 トリックアートを描こう ・表現 偶然を生かして描こう ・表現 思い出を描こう 前期の学習のまとめ・鑑賞会	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・授業中の観察 ・出席状況
	評価点	100点	100点	100点
後期	鑑賞 ・日本美術 彫刻 ・表現 粘土で塑像を作ろう デザイン ・鑑賞 デザインの世界 ・表現 デザインでメッセージを伝えよう 後期の学習のまとめ「これからの私と美術」 映像メディア表現 ・表現 動きの効果を生かして物語を表現しよう。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・授業中の観察 ・出席状況
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「美術とは何か」……オリエンテーション 美術の授業と学習内容の確認。	1
		鑑賞／絵画「視点と表し方」……人類の歴史と共にある美術について、その美術の果たしてきた役割と意義について学習。	1
		表現／絵画「身近なものを描く」……身近にあるものをスケッチする。	6
	5		
	6	表現／絵画「鉛筆で自分の手を描こう」……自らの手の構造などを観察し、デッサンに取り組む。	11
	7	表現／絵画「トリックアート」を描こう……陰影の表現を利用して、トリックアートを制作する。	8
	8	表現／絵画「偶然を生かして描こう」……絵具などの画材を使って、偶然できた色や模様などを生かして作品を描く。	2
	9	表現／絵画「思い出を描こう」……思い出や自分の気持ちを振り返り、絵画で表現する。	4
		前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……お互いの作品を鑑賞し、学習を振り返る。	2
後期	10	鑑賞／絵画「日本美術」……古くから、海外の影響を受けながらも、独自の発展を遂げてきた日本の美術の歴史について学習する。	1
		表現／彫刻「粘土で塑像を作ろう」……粘土を用いて塑像作品を制作する。	9
	11	鑑賞／デザイン「デザインの世界」……実際のデザインや、アートに携わるプロの人達への制作に対する思いについて学び、生活や社会を豊かにする美術の役割について学ぶ。	1
		鑑賞／色彩「色の仕組みや見え方を学ぶ」……視覚効果や日常生活の中で情報の伝達や説明に大きな役割を果たす色について学習する。	4
	12	表現／デザイン「色彩、文字、美の秩序などについて学ぶ」……デザイン学習での知識を生かし、グリーティングカードの制作を行う。	7
	1	鑑賞／映像メディア表現「アニメーションの手法」……アニメーションを鑑賞し、作品に込められた思いや、表現の工夫について考える。	2
	2	表現／映像メディア表現「動きの効果を生かして物語を表現しよう。」……動く絵、アニメーションについて学習し、パラパラ漫画の制作に取り組む。	9
	3	後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……1年間を振り返り、取り組んだ制作や学習した知識について確認し、今後も日常で楽しめる美術の在り方について考える。	2

5 その他

美術 I は、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 美術に関する知識を深め、意図に応じて形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用して、個性豊かで創造的に表現することができる。</p> <p>(2) 感性や想像力を働かせて主題を生成し、個性豊かに発想し構想を練ったり、価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3) 社会における美術や美術文化の役割に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していこうとすることができる。</p>
使用教科書 副教材等	高校生の美術2(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術に関する知識を深め、意図に応じて形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用して、個性豊かで創造的に表現することができる。	感性や想像力を働かせて主題を生成し、個性豊かに発想し構想を練ったり、価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	社会における美術や美術文化の役割に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していこうとすることができる。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「表現とは何か」オリエンテーション 絵画／鑑賞 「絵画の役割と写真の発明」 絵画／表現 「クロッキー」 絵画／表現 「抽象画」 絵画／表現 「スケッチ」 絵画／表現 「空想の世界を描く」 彫刻／表現 木彫によるレリーフ制作	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	彫刻／表現 木彫風の彫像制作 デザイン／鑑賞 「紙の特性を生かして伝える」 デザイン／表現 グラフィックデザイン 映像メディア／表現 「写真の表現」 1年間のまとめ 「これからの私と美術」 「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「表現とは何か」……オリエンテーション	1
		鑑賞／絵画「絵画の役割と写真の発明」……写真機の発明による絵画の役割の変化を知る。	1
		表現／絵画「クロッキー」……短時間の描画により人物の大まかな体の流れや形をとらえる。	4
		表現／絵画「抽象画」……ビー玉をころがして偶然生まれた形から発想を広げ、抽象画を描く。	2
	5	表現／絵画「スケッチ」……透明水彩絵の具を用いて校内をスケッチする。	1
	6	表現／絵画「空想の世界を描く」……ペン画により、空想した世界を描く。	12
	7	表現／彫刻「木を彫って表す」……木材を彫刻刀で削り、レリーフ(浮彫)を制作する。	12
	8		
	9	前期の学習のまとめ「作品の鑑賞会」	2
後期	10	表現／彫刻「木を彫って表す」……木粉粘土を削って丸彫り風の作品を制作する。	10
	11	鑑賞／デザイン「紙の特性を生かして伝える」	1
	12	表現／グラフィックデザイン……見た人が注文したくなるような、架空のお店のメニュー表をデザインする。	11
	1	鑑賞／写真で表現する	1
	2	表現／写真で表現する……写真を撮影し、複数の作品を並べることで、自分ならではのテーマを表現する。	10
	3	後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」……一年間の振り返り	2

5 その他

美術Ⅱは、美術Ⅰと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。美術Ⅰと比べて、より独創性を発揮できる題材が多くなっています。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けることができる。</p>
使用教科書 副教材等	高校生の美術3(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	鑑賞 オリエンテーション 鑑賞/美術史「西洋のまなざしとの出会い」 表現/絵画 鉛筆画 鉛筆による細密描画 表現/絵画 透明水彩 表現/絵画 油彩	・作品	・作品 ・ワークシート	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	鑑賞/彫刻 鑑賞 表現/彫刻 フィギュア人形制作 鑑賞/デザイン 鑑賞 環境問題を考えた住宅設計 鑑賞/映像メディア表現 アニメーションの技法	・作品	・作品 ・ワークシート	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「美しいとは何か」……………オリエンテーション 美術Ⅰ、Ⅱの振り返り、多様化する美術表現について学習。	2
		鑑賞／美術史「西洋のまなざしとの出会い」……………江戸時代幕末より現代にいたるまで西洋の美術表現が日本に与えた影響と変化の歴史を学習。	2
	5	表現／絵画 鉛筆による細密画……………モチーフについて時間をかけて観察し、モチーフの形態や特徴をよく表現した鉛筆による細密描画を制作。	8
	6	表現／絵画 「興味のあることを描く」……………透明水彩の技法を学び、興味のあるものを描く。	7
	7 8	表現／絵画 油彩……………自分なりのテーマを持ちながら、油絵具を用いて絵画を制作する。	14
	9	前期の学習のまとめ……………前期の制作を振り返り、友達の作品の鑑賞、学習内容の確認のレポートに取り組む。	2
後期	10	鑑賞／彫刻……………彫刻の表現の一つである木彫や現代多くの人々に関心をもたれているフィギュア人形について学習。	1
		表現／彫刻……………粘土を用いてフィギュア作品を制作。	15
	11 12 1	鑑賞／デザイン「自然と人間のかかわり」……………環境に優しい住宅のデザインについて学習し、建築模型を制作する。	12
	2	鑑賞／映像メディア表現「アニメーションの技法」……………アニメーション表現について学習する。	5
	3	後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……………これまで学習した美術の授業から、知識に関すること、制作に関することを振り返り、今後、創造的な社会の担い手としてどう行動すべきか考える。	2

5 その他

美術Ⅲは、美術Ⅰ・Ⅱと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術Ⅰ、Ⅱよりも精緻な表現を必要とする題材が多くなっており、粘り強く作品制作に取り組む姿勢が求められます。テキストやワークシート、資料等も用いて学習します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を活用することができる。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組むことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>書 I (光村図書)</p> <p>硬筆レッスン帳(教育図書)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を活用することができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	書道への導入 漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	書写と書道の違い	2
		書道で学習すること	2
	5	[1 漢字の書] 1 はじめに 漢字の変遷とさまざまな書体	6
		2 文字の造形を学ぶ	14
	6	〈楷書〉 あなたは、どの楷書が好き？ 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘、雁塔聖教序、顔氏家廟碑	
	7	〈行書〉 蘭亭序、争坐位文稿、蜀素帖、風信帖 〈草書〉 真草千字文 〈隸書〉 曹全碑 〈篆書〉 泰山刻石	
		3 創作する	9
	8	古典を生かした創作	
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	[2 仮名の書] 1 はじめに 仮名の成立と種類	6
		2 文字の造形を学ぶ	7
	11	仮名の筆使い 平仮名、変体仮名 蓬萊切	
		3 構成を学ぶ	5
	12	継色紙	
		4 創作する	5
	1	古筆を生かした創作	
		[3 漢字仮名交じりの書] 1 はじめに 漢字仮名交じりの書とは	2
		2 創作する 好きな言葉を書こう	3
2	篆刻	5	
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

楷書や行書、仮名などの基礎的な技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を活用することができる。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組むことができる。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を活用することができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[1 漢字の書] 1 はじめに 個性豊かな漢字の姿	4
	5	2 篆書 泰山刻石	5
		3 隸書 乙瑛碑	5
	6	4 草書 十七帖	5
		5 行書 集王聖教序	5
	7	6 楷書 孟法師碑	5
		7 創作する 座右の銘を書こう	4
	8		
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	[2 仮名の書] 1 古筆に学ぶ 高野切第一種	8
	11	平仮名・変体仮名 2 創作する 百人一首を書こう	4
	12	[3 漢字仮名交じりの書] 1 古典・名筆に学ぶ 風景を書で表現する 古典の書風を生かそう	6
		2 創作する イメージを書で表現する ポスターを作ろう	6
	1	[4 篆刻・刻字] 1 はじめに 多彩な印の表現 さまざまな書体で見る姓名印	4
	2	2 創作する 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	5
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

楷書や行書、仮名などの技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表すことができる。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組むことができる。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅲ(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表すことができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。	主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書 仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字/書道史	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	書論とは 〔1 漢字の書〕 漢字の書の多様性を楽しむ 1 篆書 散氏盤 2 隸書 礼器碑	2 4 4	
	5	3 行書・草書 喪乱帖 4 楷書 玄秘塔碑	4 4	
	6	5 創作する 漢字の書作品を味わう	6	
	7	7 漢文を書こう 〔2 仮名の書〕 仮名の書の多様性を楽しむ	4	
	8	1 平安時代中・後期 字体の違いを捉えよう	5	
	9	秋萩帖・升色紙		
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	〔2 仮名の書〕 2 鎌倉時代以降 際立つ個性を楽しもう 更級日記・源氏物語抄・和歌一種 3 創作する	2 4 4
		11	〔3 漢字仮名交じりの書〕 漢字仮名交じりの書を楽しむ・味わう 未来への決意を書こう 文士の手紙 生活の中の書	2 4 4
		12	〔4 篆刻・刻字/書道史〕 篆刻を楽しむ	5
1		刻字を楽しむ	5	
2		中国・日本書道史	3	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

書は、各時代の生活や文化と係わり合いながら変化と成長を遂げ、今に至っています。さまざまな時代の書を体験し、それぞれの表現を駆使して自分の表現に磨きをかけましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・実用音楽	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、表現意図に基づいた音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 自らの感覚と意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を比較解釈し、評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>
使用教科書 副教材等	音楽I Tutti+(大修館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、表現意図に基づいた音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	自らの感覚と意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を比較解釈し、評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養おうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「実用音楽」を学習するにあたって 歌唱(斉唱・日本歌曲、外国語歌曲) (合唱) 器楽(合奏) 楽典(基礎全般) ソルフェージュ(視唱、リズム打ち) 鑑賞(季節や行事などに関連して)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	歌唱(二部または三部合唱) 器楽(合奏) リズム・アンサンブル 楽典(読譜と記譜) 鑑賞(音楽に関する舞台や映画など) グループ発表会	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	「実用音楽」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習のねらい ソルフェージュ……………リズム練習、視唱	1 3	
	5	歌唱①……………「優しいあの子」「浜辺の歌」など(斉唱) 楽典(基礎全般)……………楽譜の分析 歌唱②……………「故郷」など(合唱)	2 4 4	
	6	<楽典小テスト> 器楽①……………ウクレレ「島人ぬ宝」	2 3	
	7	鑑賞(季節・行事)……………沖縄エイサー 他 器楽②……………エイサーに挑戦(グループ合奏) <実技テスト(合奏)>	2 4 2	
	8	鑑賞(季節・行事)……………日本の祭り、郷土の芸能	2	
	9	器楽③……………キーボード・アンサンブル「カノン」 前期の学習のまとめ	4 2	
	後期	10	歌唱③……………ポピュラー音楽に親しむ「ビートルズ」 楽典(読譜・記譜)……………アンサンブル楽譜を作ろう 「Yellow Submarine」 器楽④……………「Yellow Submarine」(合奏)	2 4 4
		11	劇音楽の世界……………ジョン・ウィリアムズ 映画「ホーム・アローン」(鑑賞) クリスマス・ソング(合奏)	2 2 4
		12	歌唱④……………ゴスペルに挑戦 鑑賞……………映画「天使にラブ・ソングを」	2 2
		1	音楽で祝う新年①……………ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート 音楽で祝う新年②……………歌舞伎座 初春大歌舞伎 <実用音楽総合テスト>	2 2 2
2		発表会に向けて……………ソロ・合唱・合奏から自由に選択 <実技テスト(発表会)>	4 1	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

生涯にわたって音楽を楽しむことができるよう、実践的に様々なジャンルの音楽活動に挑戦していきます。合唱やグループでの合奏や発表など、集団での演奏活動が主になりますので、休まずに出席すること。それを理解した上で履修して下さい。定期考査は行いませんが、授業の中で基礎力を問う筆記テストや技術力を身に付けるための実技テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・実用書道	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための実用的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい実用的にとらえたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に書の実用的な活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>
使用教科書 副教材等	30日で上達！書き込み式ボールペン字練習帳(成美堂出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための実用的な技能を身に付けることができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい実用的にとらえたりすることができる。	主体的に書の実用的な活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	実用書道について 硬筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点
後期	毛筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	実用書道について	4
	5	[硬筆による学習]	8
	6	検定試験問題演習	15
	7		
	8	[作品制作] 水墨画、絵手紙など	6
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	[毛筆による学習]	8
	11	検定試験問題演習	14
	12		
	1	[作品制作] 水墨画、絵手紙など	11
	2		
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

実用書道では、日常生活における硬筆と毛筆の書の技能を習得していきます。生活の中の書に興味関心をもつようにしましょう。硬筆毛筆書写技能検定の内容を中心に、実技だけでなく理論的なことも学習していきます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術・ビジュアルデザイン	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 人々の生活に「使いやすさ」、「わかりやすさ」、「心豊かにする」ことをもたらしたデザインについて、デザインの歴史からデザインの定義と条件を学び、それらを生かした課題学習を通じて、課題の意図に沿ったデザイン作品を完成させるため、表現に必要な知識と技術を身に付けることができる。</p> <p>(2) デザインのテーマについてよく考え、考えから生まれたアイデアを効果的に表現するために技術、知識素材、道具の特性をよく知り、デザイン作品を完成させることができる。</p> <p>(3) デザイン表現のために、参考、アイデアのもととなる作品の鑑賞を行い、表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫、意欲的に材料や用具を活用したデザイン制作に取り組むことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高校生の美術1 (日本文教出版)</p> <p>Illustrator よくばり入門 CC 対応(できるよくばり入門)(インプレス)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人々の生活に「使いやすさ」、「わかりやすさ」、「心豊かにする」ことをもたらしたデザインについて、デザインの歴史からデザインの定義と条件を学び、それらを生かした課題学習を通じて、課題の意図に沿ったデザイン作品を完成させるため、表現に必要な知識と技術を身に付けることができる。	デザインのテーマについてよく考え、考えから生まれたアイデアを効果的に表現するために技術、知識素材、道具の特性をよく知り、デザイン作品を完成させることができる。	効果的なデザイン表現のために、参考、アイデアのもととなる作品の鑑賞を行い、表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫、意欲的に材料や用具を活用したデザイン制作に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・デザインの基礎 「サインのデザイン」 ・グラフィックデザイン 「ロゴデザイン」 「模様のデザイン」 「ショップカードのデザイン」 ・「作品展示と鑑賞会」 	・作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品制作 	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	<ul style="list-style-type: none"> 「パッケージデザイン」 「年賀状のデザイン」 「ポスターのデザイン」 <p>後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」</p>	・作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品制作 	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「ビジュアルデザインとは何か」……………オリエンテーション デザインという仕事と役割、その中でビジュアルデザインとは何かについて学習する。	2
		表現「illustrator の基礎知識」……………illustrator の基本的な使い方に関する演習を行う。	2
	5 6	表現「サインのデザイン」……………illustrator を用いて、文字を使わずに情報を伝えるピクトグラムについて学習し、制作する。	8
		表現「ロゴデザイン」……………illustrator を用いて、架空の企業をイメージし、コンセプトや客層を想定して、企業理念を表現したロゴをデザインする。	7
	7	表現「模様のデザイン」……………illustrator を用いて、コンセプトを基に、ラッピングペーパーの模様をデザインする。	8
	8 9	表現「ショップカードのデザイン」……………illustrator を用いて、架空の企業のショップカードをデザインする。	6
		前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……………前期で表現した作品の展示と鑑賞、振り返り。	2
後期	10 11	表現「パッケージデザイン」……………illustrator を用いて、架空の飲料商品を販売する想定で、ターゲット層や商品がもたらす体験をイメージし、購買意欲をそそる飲料のパッケージデザインを考案する。また、コンセプトボードにまとめる。	12
	12	表現「年賀状のデザイン」……………illustrator を用いて、干支にちなんだイラストや模様で装飾した年賀状のデザインを行う。	10
	1 2	表現「ポスターのデザイン」……………illustrator を用いて、メッセージを伝えるポスターのデザインを行う。	11
	3	後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」……………これまで学習したビジュアルデザインについて振り返り、デザインの仕事の今後について考える。	2

5 その他

車、ノート、洋服など、私たちの身の回りにはいつも、誰かがデザインした製品があります。そんな身近なデザインの中でも、ポスター、雑誌、広告など、情報を視覚的に伝えるデザインを「ビジュアルデザイン」といいます。この授業では、パッケージやロゴなどをデザインしながら、コンセプトに基づき、情報の受け手の立場に立って、美しくかつ分かりやすく情報を伝達するための知識及び技能を学びます。この授業を受講すれば、illustrator の基本的な使い方は勿論、デザインに必要なものの見方・考え方や、魅力的な配色の仕方といった、将来、進学先・就職先で生かせるデザインの専門性を身に付けることができます。